

## 壮大で色彩豊かな吹奏楽が鳴り響く

色彩豊かなシンフォニーで観客を魅了



2月2日(土)、志津川小学校体育館を会場に、第3回南三陸吹奏楽祭が行われました。この演奏会には、演奏順に志津川高校音楽部と志津川吹奏楽団、歌津中学校吹奏楽部、志津川小学校吹奏楽部の4団体が出演し、団体ごとに日ごろの練習の成果を披露しました。そして最後は、総勢133人による壮大な合同演奏でフィナーレを飾り、会場に集まった家族や音楽愛好者を魅了しました。

## 大切な文化財を地域力で守ろう



文化財を火災から守る



消火器の操作を体験

1月27日(日)、袖浜地区の荒沢神社を会場に、文化財防火デー行事として火災防ぎょ訓練が行われました。訓練には消防署、消防団や婦人防火クラブなど地域の皆さんが参加。境内にある建築物や県指定天然記念物の太郎坊の杉などを守るため、初期消火訓練や放水による火災防ぎょ訓練、消火器の取り扱い講習など、真剣な表情で取り組んでいました。

## 旬の味覚で、地域商店街を盛り上げた 寒鱈まつり

2月10日(日)、志津川の本浜、南町、十日町を通る商店街(通称:おさかな通り)を会場に「南三陸志津川<sup>かんだら</sup>寒鱈まつり」が開催されました。この祭りは、地元商店街の皆さんが実行委員会を立ち上げ、地元でとれた海産物などを地元消費者や観光客へのPRと、商店街の活性化を図るため実施したものです。歩行者天国とした主会場では、マダラを丸ごと使った「ざっぱ汁(たら汁)」が販売され、旬の味覚を楽しむ姿が多く見られました。



豪快で、あったか〜い「ざっぱ汁」

## 親子で税金について学ぶ

1月29日(火)、志津川小学校を会場に、同校の6年生とその家族を対象とした租税教室「親子で学ぶ税」が行われました。この教室は、南三陸町納税貯蓄組合連合会と町が「納付促進委託事業」の一環として初めて開催したもので、気仙沼税務署の職員が講師となって、ビデオとスライドを使いながら分かりやすく税の仕組みを紹介。税金がどのような使われ方をしているのか説明されました。また、町の税務担当職員から、家族の皆さんに納期内納付の協力と呼びかけました。



税の仕組みなどを学ぶ小学生とその家族

クセを直す練習方法を指導する清水さん



## 元ベガルタ監督の清水さんにサッカーを学ぶ

2月10日(日)、部活を通した中高交流事業が開催され、志津川高等学校体育館では、サッカー解説者で元ベガルタ仙台監督の清水秀彦さんが、志津川高校と歌津中学校のサッカー部員に指導しました。清水さんは、遊びを交えたウォーミングアップと、基本練習を指導。その後練習試合を行い、「周りをよく見る」などと厳しい声が飛ぶ中、生徒たちは懸命にボールを追いかけていました。

## 観光写真393作品を展示

南三陸町観光協会が行った「南三陸観光フォトコンテスト2007」の作品展が、2月9日(土)から17日(日)まで町総合体育館ベイサイドアリーナで、2月19日(火)から26日(火)まで歌津公民館で開催されました。会場には、町内を始め県内外から応募があった一般写真253点、水中写真140点の全393作品が展示され、会場に訪れた皆さんは、1枚1枚熱心に鑑賞し、地域の魅力を再確認していました。

地域の魅力が満載の写真がずらり



## 数え100歳 家族と楽しく暮らしています 佐藤みよのさん

満99歳を迎えた佐藤みよのさん(◎本浜町)に、2月1日(金)、町から白寿のお祝い金などが贈られました。佐藤さんは、明治42年(1909年)2月1日、汐見地区に生まれ、19歳で嫁ぎ、夫婦で菓子を売る傍ら、カキやワカメの養殖を営み、8人の子どもを育てました。孫、ひ孫にも恵まれ、現在は7人家族で楽しく暮らしています。



「痛いところはどこもない」、元気にお話をする佐藤さん

毎朝6時に起きて、好き嫌いなく何でも食べるそうで、「味噌汁が一番。うちの味噌汁はおいしいよ。」と笑いながら話してくださいました。痛いところはなく、病気もせず健康と話す佐藤さんの楽しみは、週1回通うデイサービスセンター。また、昼寝をすることも好きだそうです。おとこの秋に急逝した長男の話になると、「息子に先立たれたのが残念でたまりません」と寂しそうな表情を浮かべました。長生きの秘訣を聞くと「よく仕事して、くよくよしないこと。」と教えてくれました。これからもますますお元気でお過ごしください。